遠野まごころネット：個人参加ボランティアニュース

よりそう
Side by Side

2012.1.14(土)
第141号
編集責任：中村

編集担当者 三好・中村

体も心も暖まる 足湯
―井上チームに参加して―

タイトルは，足湯をさせていただいた仮設住宅に住んでおられる方の言葉である。

1/14は 井上恵太さんが責任者である足湯チームに参加した。

まず 8:00より井上さんから説明を受ける。2011.3/28より足湯は始まったが 2012.1/14まで それなりの変遷があること，現時点での三つのポイント ①よりそうという心がけをして行ってほしい ②実技 ③ゆったり，ゆたり，やすらぐように口調も動きもとる，と説明される。

続いて2人一組で実技講習。「知らない」ということは恐ろしい!! 足湯とばかり思っていたら，指と腕を揉むという動作がついていた。指を揉むのに4つの揉む順番(四種)があり，これが結構 なかなか身につかない。「できるんかいな」と，不安になる。

いざ出発。すでに井上さんが諸道具を積みこんでおられ，かつ新しくできた集会所(12月に竣成)なので座布団がない，それで物資班の佐々木さんから，あるだけの座布団をうける。

1/14(土) 14:17 対話しながら足湯 指と腕を揉む

いよいよ始まる。

12:45頃から 数一組 計3組で仮設住宅を一軒一軒、ノックして 足湯と血圧 測定があることさご案内する。いままでの実績から 反応は極めて良い。一人の方は体調が悪いから 行かれない，といわれる。今までの足湯隊のご苦労を思う。

12:50頃には 1人目のお方が来られる(自治会長さんは，すでた座っておられたが) 井上さんが 外でお湯を沸かす。冷たい風が吹きぬける。深野さんが 場を盛り上げ、5人の新人(?)が 次々と来られるお方を足湯にさそう。私も2人のお方に足湯をさせていただく。

内心ドキドキものである。しかし高齢者の女性の手が私より大きいですねぇ」(実際に2倍位大きかった)「この手で，これまで生きてきたのよ」(シミジミとした感じ)の会話から，私としては，うまく会話が回転しはじめる。深野さんは五人の新人を励まし，声をかけ，場も盛り上げた大奮闘。12:30頃からは“お茶っこ”主体となる。持参した手袋・靴下もいくつか持ってかえられた。来られたお方は，大人10名，小学生女の子1名。血圧測定に土曜日ながら市職員さん(多分 保健婦さん)も来ておられ，15畳の集会所は人の体温で熱いぐらい。暖房を一時止める。3:00定刻に無事終了。ホッとした。なんとか やりとげました。

1/14(土) 14:29 神明前仮設住宅(冬作はミ小学校グランド)

1/15(日)天気 晴れ 気温 -4℃(低) 1℃(高) 降水確率 20%

※1/15(日)ボランティアミーティングはPM5:10～男子宿泊棟
1/14(土)の宿泊：40人，活動：120人
(4つの団体参加)

まごころ種 募集 くわしくはHPへ